

株式会社二嘉組

社員のボランティア活動への参加を通じた地域貢献を標榜し、有給の特別休暇「ボランティア休暇」を導入

取組の ポイント

- ・有給の「ボランティア休暇」制度を導入し、消防団活動や災害復旧活動など、社員のボランティア活動への積極的な参加を通じた地域貢献を支援している
- ・トップからのメッセージを始め、制度の周知を図るとともに、利用しやすい申請手続きとし、年に3日までの休暇が取得可能となっている



取組の目的・概要

- ・地域貢献、社会貢献への思いを実現するとの考えのもと、社員が積極的に地域活動に参加出来るよう、ボランティア特別休暇制度を導入した。
- ・社員とその家族の幸せが会社の発展につながると考え、平成18年から働きやすい職場環境づくりに取り組んできた。その取組の一つとして、年3日間（半日・時間単位の取得も可能）の有給のボランティア特別休暇を付与する制度を平成22年に導入した。
- ・ボランティア休暇制度により、地域活動に参加できることで、社員の満足度ややる気の向上に寄与するとともに、会社のイメージアップに繋がり、求人募集のアピールポイントにもなっている。

企業概要

[設立] 1964年
[事業内容] 建設業
[所在地] 福島県郡山市

[従業員数] 20名（連結、2017年3月現在）
[年次有給休暇の取得率] 78.3%

取組内容と特徴

山間地域での助け合いの一翼を担おうとボランティア休暇制度を導入

- ・二嘉組のある湖南町は、会津藩の参勤交代の宿場町であったことから、今も地域ぐるみで助け合う習慣が色濃く残っている。高齢化が進む中、山間地域における助け合いの一翼を担おうとボランティア休暇を制度化した。
- ・創業3代目の現社長は、長く消防団活動を続け、現在は郡山市の消防団の副団長を務めている。現在、消防団には社長と副社長の他に4名、計6名が入団しており、女性消防協力会には、2名が参加している。
- ・ボランティア休暇制度は、社員が、防災訓練などの消防団活動や災害復旧等のボランティア活動、炊き出しなどの後方支援を行う場合に利用でき、突発的な緊急事態の際には直ちに出勤できるよう、支援している。
- ・消防団活動等、実施予定日がわかる行事への参加は、3日前までに休暇願を提出し、休暇を取得する。また、緊急時の場合、直ちに出勤できるように、口頭で申出を行い、後日休暇届を提出することを認めている。
- ・平成28年度は、消防団員がこの休暇制度を利用して郡山市防災訓練、猪苗代湖の湖水警備、消防積載車両の整備管理等の活動を行った。
- ・休暇願(届)の様式は、他の休暇制度と兼用とし、社員が休暇を申請するときに自然と目につき、理解、取得が進むように配慮した。ボランティア休暇を含め、すべての休暇制度は時間単位で取得することができ、緊急の場合は事後申請も認め、柔軟な制度運用を行っている。
- ・積極的な地域貢献を考え、消防団などボランティア活動に配慮する取り組みが認められ、平成27年4月に、郡山市から「消防団協力事業所」第一号の認定を受けた。

働きやすい環境づくりに向けた取組を推進

- ・建設業界全体で、人手不足に悩んでいる中、人材の確保と長時間労働の抑制のために、ワーク・ライフ・バランスに取り組むことは必要不可欠であると考え、平成18年から、働きやすい環境づくりに向けた様々な取り組みを進めてきた。
- ・ボランティア休暇以外の取組として、育児休業手当の上乗せ(国からの給付金と合わせて80%を支給)、介護休業制度における社会保険料本人負担相当額の援助、子の看護休暇・介護休暇の上乗せや半日・時間単位の取得などを導入している。
- ・「男女が共に働きやすい、活動しやすい環境づくり」のために、セクハラやパワハラ、育児・介護などあらゆる相談を受け付ける相談窓口を設置している。
- ・関係資料を綴じた「職場での悩み相談窓口(セクハラ・パワハラ・育児・介護)」ファイルを作成し、社員がいつでも閲覧できるようにしている他、会社の各種制度を解説したパンフレットを作成し、社員に配布するなど制度の周知に努めている。
- ・ボランティア休暇に限らず、休暇制度を利用する社員の仕事をフォローするために、あらゆる業務を担当できるオールラウンダーの育成に取り組み、業務効率化を図っている。基本的なスキルや資格を2年目までに習得できるように、各種技能研修など、社外での教育訓練計画を定めている。

工事課 石田 慶仁さん

ボランティア休暇を取得し、地区の消防団活動に参加することができました。全国的に消防団員数は減少傾向にあり、私の地域においてもも少ない団員数で活動しています。そのため、個々の負担が大きくなっているのが現状です。特に40代から50代は、学校や地域での役割を担いながら、対応を求められているのです。

東日本大震災から6年が経過しましたが、災害は忘れた頃に突然やってきます。復興を強固にし、安心できる地域づくりのためには、多くの企業の消防団活動への理解や協力が必要不可欠です。

会社が休暇の取得しやすい環境や福利厚生の充実に取組んでいることで、会社への感謝の気持ちと日々のやる気に繋がり、仕事へのやりがいを実感しています。

制度利用者の声

